

| | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 町 長 | 副町長 | 課 長 | 主 幹 | 担 当 | 合 議 |
| | | | | | |

別記様式第4号

| 会 議 等 結 果 報 告 書 | | | |
|-----------------|--|------|-------------|
| 会議区分 | 会議・打合せ・協議 | 文書番号 | |
| | | 決裁期日 | 平成22年 2月 8日 |
| 名 称 | 上富良野町地域省エネルギービジョン策定等事業第5回策定委員会 | | |
| 日 時 | 平成22年 2月 5日(金) 午後1時30分～3時10分 | | |
| 場 所 | 役場3階 第2会議室 | | |
| 出席者 | 別紙のとおり(17名) | | |
| 内 容 | 1 開会 | | |
| | 2 委員長挨拶 | | |
| | 4 議事 | | |
| | 議事に先立ち、経済産業局 中西課長補佐より、持参した資料「平成22年度予算案における主な省エネルギー・新エネルギー導入支援施策の概要」と、パンフレット「わかる新エネ」について説明。 | | |
| | (1) 上富良野町省エネルギービジョン(本編:案)について | | |
| | ドーコンより、前回会議からの資料の変更点について説明。 | | |
| | 重油換算表記を灯油換算表記に(前回会議にて指摘あり) | | |
| | 既に廃校になった小学校も記載されていたので削除(清富小学校) | | |
| | ・ P5-8の省明器具に、LEDを追加したほうがよい。またP6-4にある「住宅の断熱改修は費用的に期待できません」との表記は、住宅エコポイント制度の導入もあることから、「エコポイントを活用した住宅改修を進める」という表記に改めてはどうか(松井委員) | | |
| | 今後は簡単に断熱改修できるような建材も普及してくるはずなので、もっと期待できるような表記にできないか(佐川委員) | | |
| | → LEDは追加、住宅についても修正する(ドーコン) | | |
| | ・ 国の助成策については聞いたが、町としても何か考えているのか(三本委員) | | |
| | → 他にも多くの地域課題があり、優先順位を付して予算化をしていかなければならない。財政的にも厳しい状況で、町としての助成策は今のところ考えていない(事務局) | | |
| | → 国だけでなく、町としても助成策を考えていかなければ、実効があらならないのではないか(三本委員) | | |

| | |
|-----|--|
| 内 容 | (2) 上富良野町省エネルギービジョン（概要版：案）について |
| | ドーコンより概要説明。また、本編において指摘のあったとおり「主な省エネルギー技術」に、LEDを追加修正する。 |
| | ・ 「省エネルギーについて考える」のページ中、「化石燃料の燃焼時に発生する二酸化炭素等」とあるが、二酸化炭素以外に温室効果ガスが発生するのか。「等」は必要あるのか（藤崎委員） |
| | → 確認する（ドーコン） |
| | ・ 基本方針の3の「化石エネルギーの使用量」について、化石エネルギーに限定しなくてもよいのではないかと（松井委員） |
| | → 広い意味をもたせるため、「化石」は削除する（ドーコン） |
| | ・ ビジョン策定後における自治体としての展開はどう考えているのか（佐川委員） |
| | → 次年度において新エネビジョンの策定を計画しており、温暖化対策実行計画を進めるうえでのアクションプランの2本柱が揃うことになる。 |
| | また、官としては公共施設の省エネ改修を進めていくが、その手始めとして白銀荘に温泉排熱を利用したヒートポンプ式ボイラーの設置を検討している。また、町民向けのソフト事業としてエコ講習会やワークショップの開催を考えている（事務局） |
| | ・ 委員会として協議したものを、何か具体的な形で残したいのだが（三本委員） |
| | → 講演会、シンポジウムなどを開催する際に、委員の方も登壇して参加してもらうこともできるので、ぜひご協力願いたい（事務局） |
| | ・ 作って終わりではなく、ポスターを作って掲示するなど絶えず我々の目に触れるような活動を行ってほしい（濱本委員） |
| | ・ 協議した内容を、町全体で取り組んでいきたい（安川委員） |
| | ・ これからどうするかが大事。やれることから取り組んでほしい（島瀬委員） |
| | ・ 小さなことから取り組んでいくことが大事（田中委員） |
| | ・ 今後、益々関心が高まっていくことなので、このビジョン策定がよい機会になるのでは（松井委員） |
| | ・ 進行管理をしっかりやってほしい（藤崎委員） |
| | ・ 民のアクションとして、建設業協会主催で4/23に新エネをメインに講演会と事例発表会を計画している。町の協力と、多くの参加をお願いしたい（佐川委員） |
| | ・ 省エネビジョンの策定は、上川管内では上富良野町だけ。今後はいかに実践につなげるかが重要。「ロコミ」の効果は絶大なので、情報提供の方法がカギとなってくる（上川支庁 中野係長） |
| | ・ 今年度、富良野市で新エネビジョンを策定しているが、新エネでは小さな自治体の単位ではコスト的にやれることが限られるので、広域的な取り組みも視野に入れて考えることも大事ではないかと（上川支庁 岩淵技師） |
| | |
| | |
| | |

内 容

・ 新エネをやるなら、使用エネルギーに関する情報を把握することが重要なので、省エネビジョンをまず作ったということは正解だと思う。立派なビジョンができたが、いかに実践していくかがカギ。経済産業局では、年度始めにその年度のアクションプランを作ってマスコミに公表し、年度の終わりにはその達成度を評価し、またマスコミに公表している。自分たちの首を絞めているようだが、公表することでモチベーションを高め、実践に結びつける。そうすることで、市民からの意見も来るようになり、情報が双方向となる。上富良野町もやってみては。

(経済産業局 中西補佐)

4 その他

パブリックコメントを実施した結果、1件の意見が寄せられた。今後、環境教育活動について、校長会、教頭会と協議し、授業への講師の派遣など具体的な手法について協議していく予定 (事務局)

第5回 上富良野町地域省エネルギービジョン策定委員会 会議出席者名簿

| 所属・役職 | 氏名（敬称略） | 出欠 | 代理出席 |
|-----------------------------------|---------|----|--------------------------|
| 北海道大学大学院工学研究科 准教授 | 濱田 靖弘 | 出 | |
| (財)省エネルギーセンター北海道支部 事務局長 | 藤崎 義則 | 出 | |
| 北海道電力株式会社 富良野営業所 所長 | 松井 利顕 | 出 | |
| 有限会社 南プロパン 代表取締役社長 | 三本 孝洋 | 出 | |
| 上富良野町建設業協会 | 佐川 泰正 | 出 | |
| 上富良野町商工会 | 田中 稔久 | 出 | |
| (社)かみふらの十勝岳観光協会 | 濱本 幹郎 | 出 | |
| 上富良野町校長会 | 瀬尾 祐二 | 欠 | |
| 町民代表（上富良野消費者協会会長） | 島瀬 良一 | 出 | |
| 〃 （上富良野町女性連絡協議会会長） | 安川 美音子 | 出 | |
| 〈オブザーバー〉 | | | |
| (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 | 内藤幸次郎 | 欠 | |
| 北海道経済産業局資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 課長 | 小貫 秀治 | 出 | 課長補佐 中西康之 |
| 北海道上川支庁産業振興部 商工労働観光課 課長 | 高木 雅彦 | 出 | 指導保安係長 中野仁 指導保安係 岩淵公人 |
| 〈事務局〉 | | | |
| 上富良野町町民生活課 課長 | 田中 利幸 | 出 | |
| 〃 生活環境班 主幹 | 林 敬永 | 出 | |
| 〃 〃 主査 | 野寺 龍二 | 出 | |
| | | | |
| 〈委託調査会社〉 | | | |
| (株)ドーコン 都市環境部 副主幹 | 山崎 真也 | 出 | |
| 〃 主任技師 | 竹森 憲章 | 出 | |